

第6回 武蔵高萩駅から入間市駅

実施日 2020 (R02) 年12月16日 (水) 天候 快晴のち曇り 気温 低く最高8度位

参加者 杉田 勝行、前北 勝司、中田 信義、中島 征雄 計 4名

GPSデータ

歩行距離：9.5km。 累計歩行距離 54.4km。

全体所要時間：3時間09分。移動時間：2時間33分。停止時間：36分。

移動平均速度：3.7km/h。全体平均速度：3.01km/h。

※先日メールにてお届けしたMAPで、日光街道杉並木看板と旧日光千人同心街道看板を逆に表示してしまいました。申し訳ありません。

朝は、空は雲は全く無く、遠くの間々がくっきりと見える素晴らしい天気だが、今期、一番の寒さ。待ち合わせの時間までは日向にいないと凍ってしまう。

9時47分に武蔵高萩駅南口を出発。いつも参加される折本さん、伊藤さんが不調のため欠席。4名でのウオークは寂しい。県道に出て左折、少し先で川（第二小畔川）に南下。上り坂の途中、昔の高萩宿の地図に載っていたとおりの谷雲寺の西脇に「旧日光千人同心街道」の看板がある。（9：58）これでコースが間違っていないことを確認。少し先に馬頭観音の石柱がある。坂は高萩小学校から下りとなり、高萩交差点からの車道に合流し、小川を渡って坂を上ると国道407号線に合流（10：06）。

ここから杉並木が始まる。500m程の並木の途中に「日光街道杉並木」の看板があり、その先の「鎌倉街道交差点」で並木は終わる。（10：21）この「鎌倉街道交差点」は、3年前、2017(H29)年1月15日に鎌倉街道上道ウオーク第9回で皆とここを通っている。

国道407号線を進み、次の信号交差点で、白髭神社へ行くために左折する。旧街道は、ここから右斜めに進むのだが、道は消滅して無い。白髭神社は、この辺りに多く、如何に渡来人が多かったかを思い起される。白髭神社で休憩（1034～45）

国道に出て、消滅した旧道出会うように右折。すぐ左折し、旧道は南小畔川と圏央道で遮られ消滅しているので一旦国道に戻り、南小畔川を渡り、圏央道をくぐって（10：55）消滅した旧道に入る。すぐに合流した国道は並行する道を進み、二度目の並行する道では「軍馬供養馬頭観音」があり、その先には「地藏尊他石仏群」がある。国道が通された時にここに移され纏められたものか。

国道を淡々と2キロほど進んだ下り坂の終わりの三叉路で左の旧道に入る。宿の感じが残る道の右側に、まことにそうであろうと思われる「根岸宿問屋跡・久下家」がある。その脇に「日光脇往還（脇街道）」の標柱がある。根岸宿の中心の十字路を右折し、国道に出て、その先の「松屋」で昼食とする。

（11：41～12：12）旧道に戻って進み、合流した国道の入間川の架かる豊水橋の袂に「根岸の渡し」標柱がある。豊水堰魚道を見ながら入間川を渡って進むと、右手に古民家があり、その先にあった長屋門は「繁田醤油」の旧工場であった。その隣に「旧黒須銀行」と「豊岡町道路元標」がある。

（12：39）坂を上り、霞川を越え、国道16号線を渡って西武池袋線のガードを潜って左折し坂を上った先に西武池袋線入間市駅があり12時55分に到着。



武蔵高萩駅



第二小畔川沿い旧道



谷雲寺西側の千人同心街道



旧日光千人同心街道



日光街道杉並木



杉並木



鎌倉街道交差点



旧街道入口三叉路



根岸宿問屋跡、日光脇往還標柱



食事中



松屋



豊水橋手前



根岸の渡し



堰魚道



古民家



繁田醤油長屋門



旧黒須銀行



入間市駅